

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社みなと銀行（証券コード：－）

### 【変更】

長期発行体格付	A	→	A+
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
劣後ローン格付	A-	→	A

## 株式会社関西アーバン銀行（証券コード：－）

### 【変更】

長期発行体格付	A	→	A+
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
短期発行体格付	J-1	→	J-1+

### ■ 格付事由

- (1) みなと銀行、関西アーバン銀行および近畿大阪銀行（「3行」）は、関西みらいフィナンシャルグループ（関西みらいFG）の100%子会社。関西みらいFGは、りそなホールディングス（りそなHD）が議決権の51%を保有する、同社の連結子会社である。3行で形成される関西みらいFGグループは、総資産ベースで関西最大の地域金融機関グループであり、りそなHDのグループガバナンスのもと、「関西の未来とともに歩む新たなリテール金融サービスモデル」の構築を目指している。3行のうち関西アーバン銀行と近畿大阪銀行（「合併2行」）は19年4月に合併し、システムを19年10月に統合する予定である。みなと銀行も、システムを20年度の半ばごろに合併2行のものと統合する。
- (2) 今回のみなと銀行と関西アーバン銀行（「格付対象2行」）にかかる格上げは、JCRがりそなグループの信用力評価を引き上げたことに伴うものである。JCRは、本日付でりそなグループの中核銀行でありりそな銀行の長期発行体格付を1ノッチ引き上げ「AA-」とした（ニュースリリース18-D-0574参照）。JCRではりそなグループの、グループ全体としての信用力を「AA-」相当とみており、3行の信用力はこれにきわめて近いものとみることが適当と判断している。これには、3行がりそなグループの関西でのリテール金融戦略の中で明確な役割を担い、戦略的重要性が高い子会社として位置づけられているため、仮に経営に問題が生じた場合はりそなグループから財務支援を含む各種の支援が提供される可能性が高いとのJCRの見方を反映している。りそなグループの信用力と格付対象2行の長期発行体格付に1ノッチの差があるのは、3行の収益力と資本水準がりそなグループの中核銀行のそれを下回っており、そのような状況が当分は続くこと、および3行の持株会社である関西みらいFGが上場しているためりそなグループからの一定の独立性の維持が必要とみられることを反映している。
- (3) りそなグループは、「オムニ・リージョナル体制」の確立を重要な成長戦略としている。同体制のもと、りそなグループは中小企業や個人を対象とする地域密着型のリテール金融事業を強化するとしている。この戦略のもと、3行には地域の中小企業や個人にアクセスするためのチャンネルとして非常に重要な位置付けがなされていると考えられる。業務運営をみても、業務の基幹をなすシステムが、今後約2年以内に統合され、りそなグループのシステムと共通化される予定である。リスク管理その他の内部管理についても、りそなグループとの一体性が強い内容となるとJCRはみている。

（担当）炭谷 健志・清水 達也

■格付対象

発行体：株式会社みなと銀行

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
劣後ローン	52億円	2013年3月15日	2021年3月15日	1.35%	A

発行体：株式会社関西アーバン銀行

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	格付
短期発行体格付	J-1+

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年9月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：炭谷 健志
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)、「親子関係にある子会社の格付け」(2007年12月14日)、「銀行持株会社および子銀行の格付けについて」(2001年3月15日)、「金融機関等が発行する資本商品・TLAC商品の格付方法」(2017年4月27日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社みなと銀行  
株式会社関西アーバン銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であってもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル